

I

C

T

と

女

性

2021年11月5日(金)

13:30～15:30

オンライン配信 (Zoom) (先着500名)

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ5階 大セミナールームでも配信映像
をご視聴いただけます。(先着50名) (北九州市小倉北区大手町11番4号)

～情報化時代における女性のエンパワーメント～

プログラム

13:30～13:40 開会

13:40～14:15 対談

内海 房子氏

(独立行政法人 国立女性教育会館 理事長)

×

湯浅 壱道氏

(明治大学公共政策大学院がバナンス研究科 教授、KFAW 理事)

14:15～14:25 企業の取り組み紹介 西野 幸氏 (株式会社ソルネット 理事、DXセンター長)

(休憩 10 分)

14:35～15:00 活動事例発表

✳️ 臼井 久実子氏 (DPI女性障害者ネットワーク 役員)

✳️ ニスハット・タスリン・モハナ氏 (KFAW 第31期海外通信員)

✳️ ディナ・ルンバントービング氏 (プルマンプコンソーシアムの共同設立者兼コーディネーター)

15:00～15:10 専門家からのコメント

15:10～15:25 質疑応答

15:25～15:30 閉会

参加費
無料

日英
同時通訳

文字通訳
(要約筆記)
(日本語のみ)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

4 質の高い教育を
みんなに

5 ジェンダー平等を
実現しよう

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

主催 公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

後援 内閣府、北九州市

詳しくは
ホームページから



公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

●お問い合わせ (企画広報課)

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州市大手町ビル3階

TEL: 093-583-3434 FAX: 093-583-5195 Email: info@kfaw.or.jp URL: http://www.kfaw.or.jp

ICT と女性

～情報化時代における女性のエンパワーメント～

現在の社会では、あらゆる分野でICT(情報通信技術)が重要な役割を果たしています。また、COVID-19パンデミック対策により、デジタル化/自動化がさらに促進されています。オフィスでの省人化や社会運動の促進など、ICTは人間の生活に様々な良い影響を与えています。ICTが私たちの生活にもたらす影響や課題について考えていきます。

一方で、ICTを巡る男女間の不平等についても取り組む必要があります。世界のインターネット利用状況には17%の男女差があるとされており、また科学分野への女子や女性の参加率が低いことから、STEM(科学、技術、工学、数学)教育の必要性も注目されています。

ICTは開発の強力な力となります。本会議では、包括的な開発とSDGsの原則である「誰一人取り残さない」を達成するために、アジア太平洋地域のNGOや民間企業における優れた実践例をご紹介します。情報化時代における女性のエンパワーメントについて考えます。



◀ 内海 房子氏
(独立行政法人 国立女性教育会館 理事長)

津田塾大学数学科卒業後、NECへ入社。技術課長を経て、人事部へ異動。全社の女性活躍推進を手がける。2001年にNECソフト(株)人事担当執行役員、2005年にNECラーニング(株)社長に就任。2011年7月から現職。



◀ 西野 幸氏
(株式会社ソルネット 理事、DXセンター長)

1969年北九州市生まれ。北九州市立大学文学部を卒業後、株式会社ソルネットにシステムエンジニアとして入社。現在はDXセンター長として、お客様のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進中。



◀ 湯浅 壱道氏
(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授、KFAW 理事)

青山学院大学法学部卒業。九州国際大学教授・副学長、情報セキュリティ大学院大学教授・副学長を経て、2021年より現職。北九州市男女共同参画審議会副会長、総務省情報通信政策研究所特別研究員などを務める。



◀ 臼井 久美子氏
(DPI女性障害者ネットワーク 役員)

聴覚障害者。2012年発行「障害女性性の複合差別実態調査報告書」にて、自治体の基本計画等の障害女性についての記述を調査。コロナ禍の中、2020年「オンラインお話し会」や文字通訳者養成講習の開催を担当。



◀ 堀内 光子
(公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム 理事長)

児童労働ネットワーク代表、ジェンダー問題、仕事・労働問題などを専門とし、国連事務局(社会問題担当官)、国際労働機関(ILO)事務局長補、内閣総理大臣官房参事官兼内閣審議官、国連日本政府代表部公使などを歴任。



◀ ニスハット・タスリン・モハナ氏 (バングラディシュ)
(第31期 KFAW海外通信員)

大学生。大学では4回の模擬国連会議に参加。独立した研究も行う。主に金融・経済の側面から、女性の福祉に寄与するための執筆を行う。女性のエンパワーメントの新たな可能性に焦点を当て、世界の女性の貢献に光を当てる研究者となることを目指す。

お申込み 締め切り：10月29日（金）

ホームページ/Email/電話/FAXでお申込みください。

■オンライン配信について(先着500名)

※会議前日までに視聴に必要なURLをお送りいたしますので、メールアドレスが必要です

■会場視聴について(先着50名)

※視聴言語は日本語のみ

※Wi-Fi環境や高速通信など電波の良いところで視聴ください

※全編文字通訳(要約筆記)付きで配信します(日本語のみ)

※手話通訳あり(要申込)

※託児あり(6ヵ月～就学前)/1人500円(要申込)



申込みフォーム



◀ ディナ・ルンバントーピング氏 (インドネシア)
(ブルマンプ・コンソーシアムの共同設立者兼コーディネーター)

1990年に北スマトラ女性NGOバサダを共同設立し、現在は同知識経営およびサステナビリティ責任者。またブルマンプ・コンソーシアム(2012年設立のNGO協議会)では、スマトラ8州における女性の性と生殖に関する健康と権利(SRHR)のアドボカシーに注力する。

参加費
無料

先着順
受付

文字通訳
(要約筆記)
(日本語のみ)

FAXお申込みフォーム (FAX 093-583-5195)

お名前	メールアドレス	電話番号	視聴方法	手話通訳希望	託児希望 ※ありの方、下記住所記載
			☐ オンライン ☐ 会場	☐ あり	☐ あり
			☐ オンライン ☐ 会場	☐ あり	☐ あり
			☐ オンライン ☐ 会場	☐ あり	☐ あり

※託児希望の方は、お申込み用紙を郵送いたしますので、下記にご住所の記入をお願いします。

ご住所

